

# JCI-TC131A 性能設計対応型ポーラスコンクリートの施工標準と品質保証体制 の確立研究委員会

## 第1回 研究委員会 議事録 (案)

■日 時 : 2013年7月3日(水) 16:00~18:30

■場 所 : (公社)日本コンクリート工学会 第5会議室  
(東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル11F)

■出席者 : 畑中、岡本、梶尾、國枝、三島、浅野、伊神、石田、伊藤、上野、加形、木村、齊藤、杵本、高山、玉井、鶴田、成田、平岩、麓、柳橋

以上21名

■資 料 : 1. JCI 研究委員会資料(様式2) 活動方針  
2. JCI 研究委員会資料(様式3) 委員名簿  
3. 委員会資料  
4. 第1回幹事会 議事録(案)  
5. 性能WG 活動計画 案  
6. 現場WG 活動計画 案  
7. 製品WG 活動計画 案  
8. 通信委員公募 会告(案)

### ■議 事 :

#### 1. 委員長挨拶(畑中委員長)

資料1に基づき、委員会の目的に関する説明があった。ポーラスコンクリートの国際的な規準化の流れに遅れないよう、国内の施工実績や研究成果を集約する。将来的には規準化も視野に入れた検討を進める。前回委員会(2002~2003年度)では十分に果たせていなかった、ポーラスコンクリートが市民権を得る事を目指す。

#### 2. 各委員自己紹介および委員名簿記載内容の確認

各委員より自己紹介がなされた。一部委員の大部の資料に関しては、梶尾幹事がデータを保管しているので、必要があれば問い合わせる事とした。

#### 3. 委員会設立主旨、活動方針の説明

・梶尾幹事より、資料4に基づき、事前の幹事会で話し合われた内容に関して説明があった。

・今後の活動予定は以下の通りで承認された。

8/21(水) 13:00~18:00 第2回研究委員会 @JCI 会議室(欠席予定:3名)

10/29(火) 13:00~18:00 第3回研究委員会 @JCI 会議室(欠席予定:0名)

12/21(土) 午後 中間報告会 @名城大学名駅サテライト(欠席予定:0名)

2/7(金) 13:00~18:00 第4回研究委員会 @JCI 会議室(欠席予定:1名)

・事務局より、旅費の上限(3万円)を設けないで欲しいとの要望があった。これに対し、遠方の委員も委員会に来ることができ、かつ、委員会を円滑に進めるための苦肉の策である旨を本部に説明していただく事とした。

・中間報告会は委員会とは別会計で行われることが確認された。

・委員の上限は20名で、既に超過しているが、必要があれば今後加わる通信委員を通常の委員として増員することも可能。

・海外の通信委員は、幹事団で現在検討中。推薦などあれば幹事に連絡することとした。

#### 4. 各WGの活動計画および主査、副査、委員の決定

- ・各委員の所属 WG は以下のように決定された。
  - <性能 WG> 畑中、三島、石田、上野、片平、齊藤、平岩、麓（8名）
  - <製品 WG> 岡本、國枝、伊神、玉井、鶴田、成田（6名）
  - <現場 WG> 梶尾、浅野、伊藤、加形、木村、杵本、高山、柳橋（8名）
- ・各 WG に分かれて活動の進め方の議論が行われた。各 WG 所属の幹事より、結果が報告された。
  - <性能 WG> 品質・性能 WG として、ポーラスコンクリートの性能ごとに、研究報告の文献調査を進める。詳細な進め方に関してはメールで継続審議とする。調査対象は、研究論文を中心とする。
  - <製品 WG> 現状の製品の品質レベルの実態調査を行う。調査範囲は協会等を通じて委員以外も含めて行う。品質管理方法についても調査する。耐久性レベルの目標値の調査を行うと共に、現存する古いポーラスコンクリート製品に関する実績調査を行う。製造過程に特徴的なものがあるかの調査を行う。
  - <現場 WG> 現場の用途別に実績を取りまとめる。施工方法別に管理方法の違い（品質の管理幅とその評価手法）に関して調査を行う。調査範囲は、まず委員会の中とする。各社で作製したマニュアルなどあれば提示して欲しい。

## 5. その他

委員会において議論された内容は以下の通り。

- ・現場での品質管理方法について、テストピースとコア供試体の相関についてはグレーゾーンであり、求められればコア抜きを行う事もある程度。
- ・凍害や乾湿繰返しの実績は？→このあたりも情報収集を行う。
- ・中間報告の会告：8月末までに作製し、10月号に掲載予定。
- ・中間報告会は講習会ではなく公開討論の形式でも良いのでは？

以上

(文責：三島)